

様式第2号

行政視察報告書（調査研究費）

令和6年10月29日

長久手市議会議長
木村さゆり 様

長久手市議会議員 山田かずひこ

政務活動費を充てることができる経費の範囲の運用指針により次のとおり届け出ます。

年 月 日	令和6年10月2日（水）1日間
視 察 先	岐阜県御嵩町議会・中山道みたけ館郷土館 （行程表は別添1のとおり）
成 果	別紙、行政視察報告書のとおり
経 費	金 797 円（政務活動費対象経費） 金 2,226 円（全体経費） （明細は別添のとおり）
提 出 資 料	○視察先資料 ○領収書の写し ○ガソリン代支出記録、ルート表、ガソリン代領収書添付書（車で行った場合に限る。）

※行政視察を実施した後は議長に1カ月以内に提出するものとする。ただし、1カ月以内が翌年度の4月20日を経過する場合は20日までとする。

○経費明細

【全体経費】 2, 226円

・交通費 ガソリン代 1, 109円
往復高速代 2, 080円

計 3, 189円

・手土産代 2, 115円

・昼食代 900円

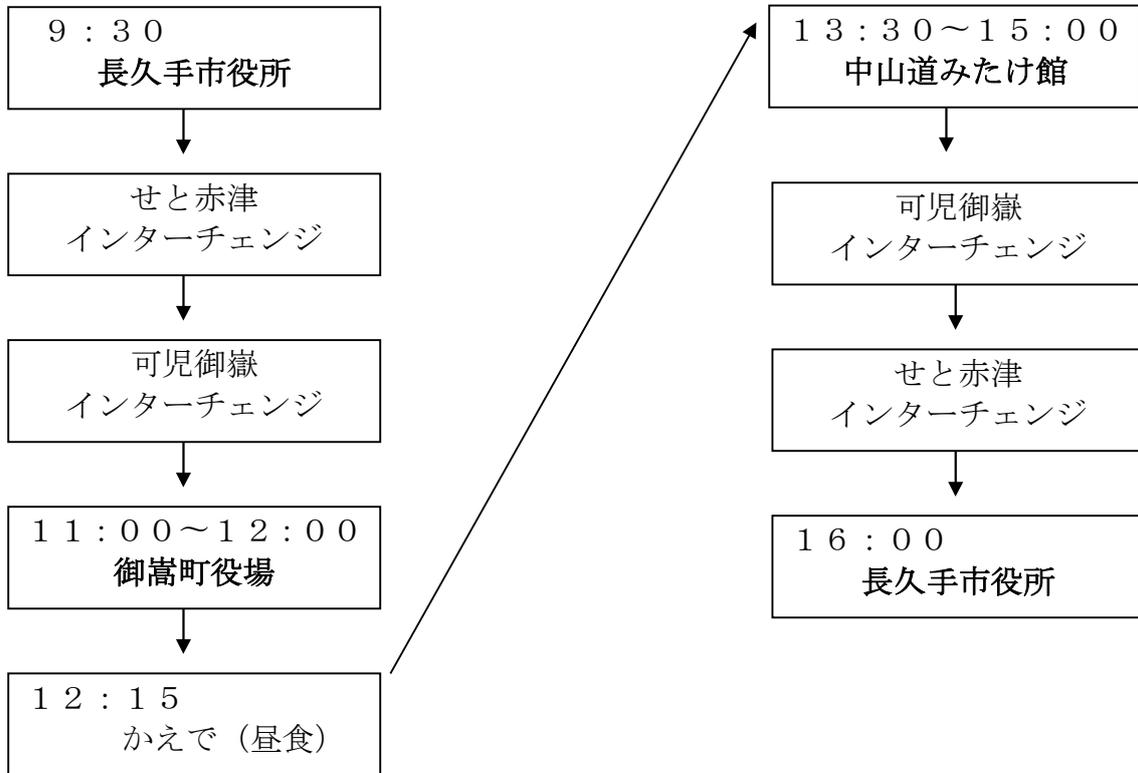
} 会派4人で同行したため、
1人あたり1, 326円

【政務活動費対象経費】 797円

・交通費 ※会派4人で1台の自家用車に同乗
 $3, 189円 \div 4 = 797.25円$
→797円/1人

ルート表

年月日	令和6年10月2日(水) 1日間
種別	自家用車・レンタカー



有料道路代			
(せと赤津IC)	→	(可児御嶽IC)	1,040円
(可児御嶽IC)	→	(せと赤津IC)	1,040円
合計			2,080円

※車を使用した場合に記載すること。

※□内には目的地、主な経由地、高速道路インターチェンジ名を記載すること。

長久手市議会議長
木村さゆり 殿

令和6年10月29日

行政視察報告書

長久手市議会議員 山田かずひこ

〔日 程〕 令和6年10月2日（水）

〔視察先〕 岐阜県御嵩町議会

〔視察目的〕

○亜炭鉱後対策について

長久手市には亜炭坑道がまだ残っており、以前にも陥没した凡例がある。南海トラフ巨大地震が発生した場合、陥没する危険性があるため、先進地の御嵩町の取り組みを視察する。

〔質疑概要〕

- Q. 御嵩町では亜炭鉱跡を調査し、防災対策としてハザードマップにも表示しているが、町内すべての亜炭鉱跡を調べたのか。
- A. 過去のボーリング調査等、既存のデータ等により、平成20年3月に空洞マップを作成した。
- Q. 亜炭廃坑による陥没事故はどのくらい起きているのか。また、地震発生時の陥没事故の扱いはどのように処理されるのか。
- A. 261件（平成23年 9件、令和4年 1件、令和5年 4件）
大きな地震はないが、特定鉱害事業として処理している。
- Q. 調査するのにどれくらいの時間を要したのか。
- A. 国土交通省、岐阜県のボーリングデータ600以上を活用したため、時間はわからない。
- Q. 充填工事は、現在何パーセントまで進んでいるのか。また、すべて完了するのはいつか。

A. 831ヘクタール中100ヘクタールである。約10パーセント。
令和7年度以降予算が未定である。

Q. 市民に対して、亜炭鉱の周知、理解はどこまで進んでいるのか。

A. ハザードマップや郷土館で展示しているため、ある程度周知されていると思う。

〔感想・所見〕

御嵩町は、昭和13年頃から亜炭産業が活発になり、産業として発展してきました。そのため、亜炭鉱の坑道は空洞のまま残されていたものが多く、陥没事故が相次いでいるとのことでした。特に平成22年に起きた大規模陥没事故は、東西65メートル、南北75メートルの範囲で起こり、民家5件が被害にあっている。そのため、まずは町民に周知させるため、国土交通省、岐阜県のボーリング調査を600以上活用し、平成20年3月に空洞マップを作成し、令和3年から空洞充填工事を行っている。

この工事については、「南海トラフ巨大地震に備えた亜炭鉱跡対策事業」として、旧鉱物採掘区域防災対策費補助金を活用している。

基金総額：約80億円

実施期間：令和3年3月～令和7年3月まで

国（補助率9／10）県（補助率1／10）

工事状況はまだ現在約10パーセントしか進んでおらず、令和7年度以降は予算も未定ということである。

亜炭鉱については、御嵩町の産業として発展してきたことを中山道みたけ館郷土館に産業遺産として、常設展示している。また、VRにて亜炭鉱の様子を体験できるようにしており、坑道内の様子がよくわかった。本市の古戦場ガイダンス施設にもこのVRは取り入れると良いと考える。また、おみやげ品として、「たんこうショコラ」を作り特産品として販売している。このアイデアは大変おもしろい。こういった取り組みは参考にすべきである。

本市においては、区画整理事業で充填工事をしており対策済である。ただし、本市も産業として発展してきたことは、後世に伝えることは必要であると考え

